9　消耗部品の交換方法

日々の作業を安定して能率的に行うために、作業前・作業後のメンテナンス・早い時期の消耗部品の交換をお勧めいたします。
以下の「消耗部品の交換方法」をよくお読みいただき、正しく作業を行ってください。

⚠ 警告　消耗部品の交換やメンテナンスのを行う時は、必ず電源プラグを手で持ってコンセントから抜き、作業を行ってください。電源プラグを差し込んだまま作業を行うと感電する危険性があります。

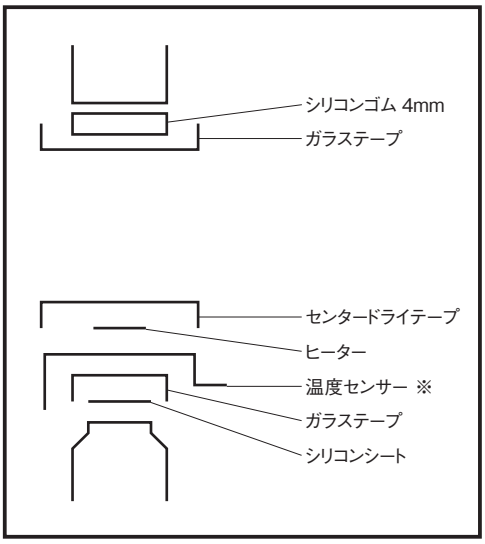
⚠ 警告　取扱説明書に記載されている以外の間違った方法で交換すると機械が正常に働かないばかりか、感電や火傷をする危険性があります。

⚠ 警告　消耗部品は必ず弊社指定の部品をご使用ください。指定外の部品を使用されると製品の性能が正しく発揮できないだけでなく、故障の原因にもなります。

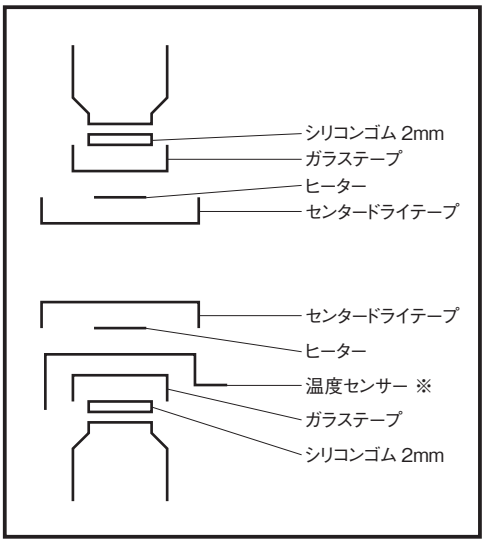
9-1 シール部の構造

シール部は下図の部品から構成されていますので消耗部品の交換の時は順番を間違えないように正しく取り付けてください。

片側加熱式



両側加熱式



※温度センサーは、温度制御仕様機（SBU-OPL/SBX-OPL）のみに取り付けています。

9-2 消耗部品の販売について

消耗部品は長時間の使用で損傷し、シール状態が悪くなっていきます。傷んだ部品を続けて使用すると故障の原因となりますので予備品を手元に置かれ、適時交換してください。
消耗部品は下記表の発注単位で販売しています。
製品名・品名・数量を明確にご指定の上、お買い上げの販売店へご注文ください。お買い上げの販売店が不明の場合は弊社までご連絡ください。販売店のご紹介をさせていただきます。

部品名	販売単位
センタードライテープ	5m 巻　1巻
シリコンゴム	1 本
ガラステープ 25mm	5m 巻　1 巻
シリコンシート	1 セット 2 本または 5 m巻　1 巻
ヒーター（10mm 幅）	※ SBU:1 セット 10 本　SBX:1 セット 5 本 （組紐ヒーターは各 1 セット 5 本）
電極	1 セット 2 個

※詳しくは、お買い上げの販売店もしくは弊社までお問い合わせください。

9-3　センタードライテープの交換方法

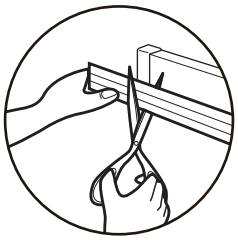
【必　要　物】 はさみ

【交換の目安】 センタードライテープが破れた、焦げた、シールが汚い等

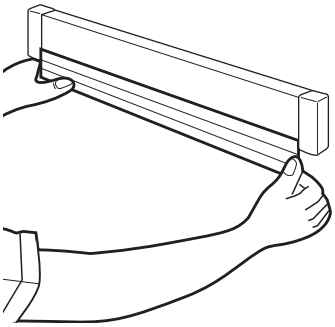
センタードライテープは単品販売しています。

1　シールバーの端から傷んだセンタードライテープを取り外します。

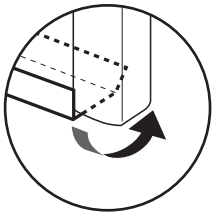
2　新しいセンタードライテープをシールバーの長さと同じ長さにはさみでカットします。



3　新しいセンタードライテープをシールバーの端から順に貼ります。



4　センタードライテープ中央の粘着のりがない部分にヒーターが位置するように貼り、反対側に折り返して貼り付けます。



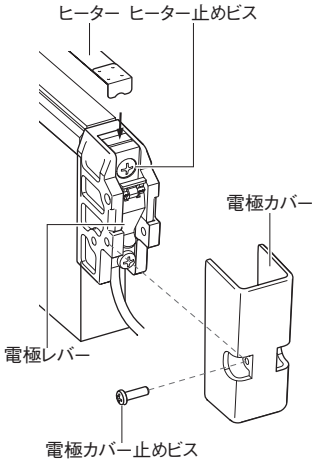
9-4　ヒーターの交換

【必　要　物】　プラスドライバー
【交換の目安】　ヒーターが切れた、ヒーターの表面が凸凹になっている、シールが汚い

⚠ 警告　シール幅（ヒーターの幅）が異なるヒーターへの交換は絶対にしないでください。

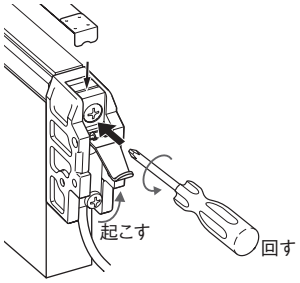
1　ヒーターはセンタードライテープで覆われています。「9-3　センタードライテープの交換方法」（→ P.25）を参照して、センタードライテープを取り外します。

2　プラスドライバーで電極カバー側面の電極カバー止めビスを外し、電極カバーを取り外します。

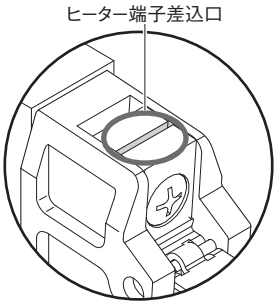


3　電極レバーを上側のヒーターの場合は下方向、下側のヒーターの場合は上方向に起こし、ヒーター止めビスを緩めます。

4　ヒーター止めビスを緩めると傷んだヒーターが取り外せます。



5　電極レバーを起こしたまま新しいヒーターを電極のヒーター端子差込口に挟み、ヒーターが電極から浮かないように押さえながらヒーター止めビスをしっかり締めた後、電極レバーを倒します。



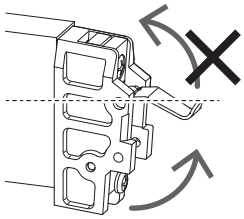
6　2 で取り外した電極カバーを取り付けます。

7　「9-3　センタードライテープの交換方法」（→ P.25）を参照して、新しいセンタードライテープを取り付けます。

⚠ 警告　安全のため、ヒーター交換後は必ず電極カバーを取り付けてください。
交換用ヒーターは必ず弊社指定の専用ヒーターをご使用ください。専用ヒーター以外のヒーターを使用されますと、トランス焼損の原因となります。

⚠ 警告　電極は樹脂のため電極カバーを固定する時、電極カバー止めビスを強くネジ込むとネジ山がなくなり固定できなくなります。
電極カバーを固定する時、軽く少し引っかかる程度で固定するようにしてください。

⚠ 警告　ヒーター端子を電極に差し込む位置を間違えると、シール時、電極部分でショートするので、充分気をつけて取り付けを行なってください。
電極レバーは水平位置より上側の電極の場合は下方向に、下側の電極の場合は上方向に起こさないでください。電極が破損します。



9-5　ガラステープの交換

【必　要　物】　ハサミ、プラスドライバー、アルコール（エタノール）

【交換の目安】　ヒーターがよく切れる、シールが汚い

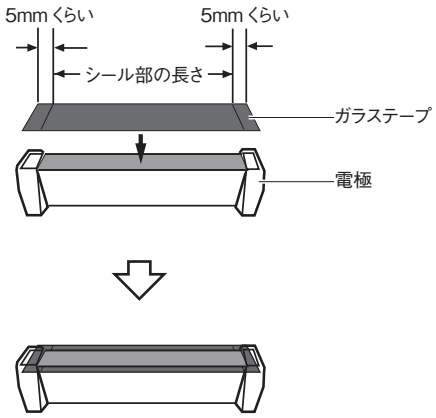
⚠ 注意　ヒーター下部のガラステープが傷んだり焼損するとヒーターの絶縁不良や、シール不良の原因となりますので、ヒーターの交換時には必ず点検し、必要に応じて貼り替えてください。

1　「9-3　センタードライテープの交換方法」（→ P.25）、「9-4　ヒーターの交換」（→ P.26）を参照して、センタードライテープ、ヒーターを取り外します。

2　ヒーター下部のガラステープをきれいにはがします。

注！　粘着のりが残っている上にガラステープを貼り付けると、シールに悪影響を起こします。粘着のりをきれいにアルコール（エタノール）で取り除いてください。

3　ガラステープの両端が電極に5mmずつかかるようにカットして、電極の上に重ねるように貼り付けます。



4　「9-3　センタードライテープの交換方法」（→ P.25）、「9-4　ヒーターの交換」（→ P.26）を参照して、センタードライテープ、ヒーターを取り付けます。

注！　ガラステープ交換の際に、シリコンシートのシールバーへの貼り付け粘着力が低下していましたらガラステープとともにシリコンシートも交換してください。

9-6　シリコンシートの交換（片側加熱仕様機）

【必　要　物】　ハサミ、プラスドライバー、アルコール（エタノール）

【交換の目安】　ヒーターがよく切れる、シールが汚い

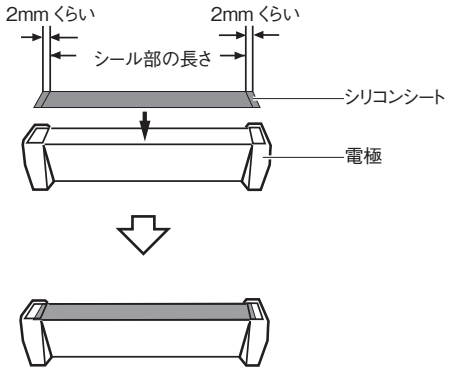
⚠ 注意　ヒーター下部のシリコンシートが傷んだり焼損するとヒーターの絶縁不良や、シール不良の原因となります。ヒーター交換時には必ず点検し、必要に応じて貼替えてください。

1　「9-3　センタードライテープの交換方法」（→ P.25）、「9-4　ヒーターの交換」（→ P.26）、「9-5　ガラステープの交換」（→ P.27）を参照して、センタードライテープ、ヒーター、ガラステープを取り外します。

2　ヒーター下部のシリコンシートをきれいにはがしてください。

注！　粘着のりが残っている上にシリコンシートを貼り付けると、シールに悪影響をお起こします。粘着のりをきれいにアルコール（エタノール）で取り除いてください。

3　シリコンシートの両端が電極に 2 mmずつかかるようにカットして、電極の上に重ねるように貼り付けてください。



4　「9-3　センタードライテープの交換方法」（→ P.25）、「9-4　ヒーターの交換」（→ P.26）、「9-5　ガラステープの交換」（→ P.27）を参照して、センタードライテープ、ヒーター、ガラステープを取り付けます。

9-7　温度センサーの交換方法（SBU-OPL/SBX-OPL 温度制御仕様機）

【必　要　物】　プラスドライバー
【交換の目安】　温度センサーの破損

温度センサーはヒーターとガラステープの間に挟む位置にセットしてあります。

1　「9-3　センタードライテープの交換方法」（→ P.25）、「9-4　ヒーターの交換」（→ P.26）を参照して、センタードライテープ、ヒーターを取り外します。

2　ビスA -1 、ビス A-2 、ビス B を外し、温度センサー固定板を外して温度センサーを取り外します。

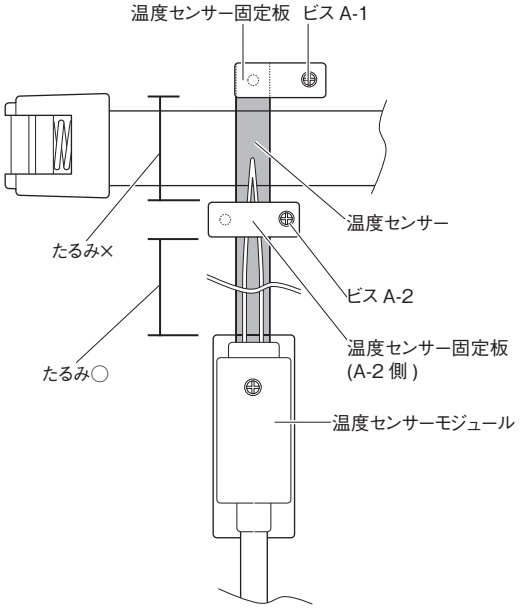
3　温度センサー固定板（ビス A-1 側）の突起部分を温度センサー先端部の穴にはめ込み、シールバーに固定します。

4　温度センサー固定板（ビス A-2 側）で温度センサーを挟み込み仮固定します。

5　温度センサー固定板（A-1 側）と温度センサー固定板（A-2 側）の間はたるまないように温度センサーモジュール側にセンサーを軽くひっぱりながら温度センサー固定板（A-2 側）をしっかりと固定してください。

6　温度センサーモジュールを固定します。

7　「9-3　センタードライテープの交換方法」（→ P.25）、「9-4　ヒーターの交換」（→ P.26）を参照して、センタードライテープ、ヒーターを取り付けます。



⚠ 注意　ビス A-1 からビス A-2 の間は温度センサーがたるまないようにしてください。

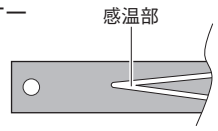
⚠ 注意　温度センサーをひっぱる時、温度センサーモジュールを持って強くひっぱるとセンサー部が切れてしまうことがあります。

⚠ 注意　温度センサーの取付位置を誤りますと、シールができない場合があります。

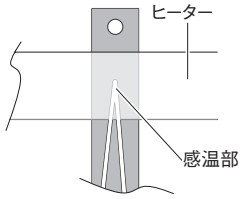
温度センサーを取り付ける時、感温部がヒーターの中央にくるように取り付けてください。（右イラストを参照してください。）感温部が正しい取り付け位置からズレているとヒーター温度を正しく検出することができません。

温度センサーの取付位置

■ 温度センサー



■ 取付位置



センサーはヒーター下に取り付けます

9-8　シリコンゴム（4mm）の交換（片側加熱仕様機）

【必　要　物】　アルコール（エタノール）
【交換の目安】　シリコンゴムの表面が凸凹になっている

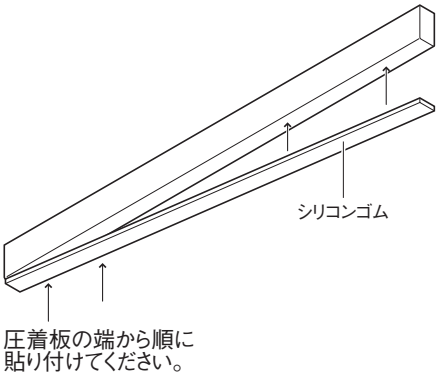
1　「9-5　ガラステープの交換」（→ P.27）を参照して、ガラステープを取り外します。

2　傷んだシリコンゴムを取り外し、粘着のりをアルコール（エタノール）できれいに拭き取ります。

注！　粘着のりが残っている状態でシリコンゴムを貼ると、きれいなシールに仕上がりません。

3　新しいシリコンゴムには、粘着テープが付いています。剥離紙を外し、圧着板の端から順にシリコンゴムを貼ります。

4　「9-5　ガラステープの交換」（→ P.27）を参照して、ガラステープを取り付けます。



9-9　シリコンゴム（2mm）の交換（両側加熱仕様機）

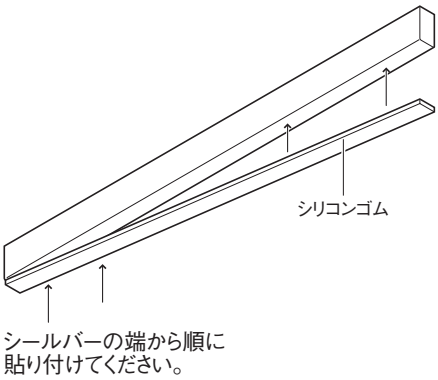
【必　要　物】　ハサミ、プラスドライバー、アルコール（エタノール）
【交換の目安】　シリコンゴムの表面が凸凹になっている

1　「9-3　センタードライテープの交換方法」（→ P.25）、「9-4　ヒーターの交換」（→ P.26）、「9-5　ガラステープの交換」（→ P.27）を参照して、センタードライテープ、ヒーター、ガラステープを取り外します。

2　シリコンゴムをはがし、粘着のりをアルコール（エタノール）できれいに拭き取ります。

注！　粘着のりが残っている状態でシリコンゴムを貼ると、きれいなシールに仕上がりません。

3　シール面に両面テープを貼ります。

4　シールバーの端から順にシリコンゴムを貼り付けます。

5　「9-3　センタードライテープの交換方法」（→ P.25）、「9-4　ヒーターの交換」（→ P.26）、「9-5　ガラステープの交換」（→ P.27）を参照して、センタードライテープ、ヒーター、ガラステープを取り付けます。